

第1回 研修 テーマ「バイオマス産業都市構想を知る」

バイオマス資源を活用した地方創生で有名な北海道下川町を訪問

2015年10月28日(水)～30日(金)

■ 行程

10/28

旭川空港→下川町役場→町内バイオマス施設見学・説明会→懇親会→名寄(宿泊)

10/29

町内バイオマス施設見学→旭川空港→富良野(宿泊)

10/30

東京大学北海道演習林麓郷森林資料館→東京大学演習林内→旭川空港



ホテルではありません、町営住宅の共廊下。

この住宅群は隣接のバイオマスボイラーから暖房と給湯の供給を受け、外部通路も融雪されるので大変便利。

冬の寒さは日本でもトップクラスの地域です。



小中学校の内装に地元バイオマスを活用。

シラカバのフロアはすごく綺麗、建具・机・イスなども町内産木材が使われる。

説明は全て役場の課長が行い外部に任せない。

強い危機感からか、役場内の結束が固い。



懇親会は町長はじめ役場の方々、林産事業者。



偶然にも日程が重なった

環境省大臣官房長の森本さん(現事務次官)など
多くの方々と情報交換できました。



最終日は富良野の東大演習林を見学許可を得て通行しています。



富良野の森林資料館。
圧巻の巨木が展示されます。



林内は、手を付けない原始林と
生産林に分けられて管理される
原始林側は倒木もそのまま。



生産林から伐採されたトドマツ。

炭鉱の閉山、JRの廃線、観光の目玉も無い極寒の町は
激しい人口減少に直面しましたが、役場の課長クラスが
結束して対策を研究し、町の唯一の資源であるバイオマス
利活用に注目しました。トライ&エラーの結果、社会増減で
人口がプラスに転じたそうです。